



学校便り 琢磨

令和5年度 第24号 R6.1.16 三豊市立詫間小学校

3学期学級委員任命式

1月15日（月）。校内放送による、「第3学期学級委員任命式」を行いました。

3学期はとても短いですが、進学・進級に向けて、その学年のまとめをするとても大切な学期です。詫間小学校の1年間のためには、「学級や学校に心地よい風を吹かせる」こと、そして、子どもたち自身が「詫間小は日本一の学校だ！」と、3月に思えることです。そのめあてに向かって、素晴らしい学級をつくるリーダーとして活躍してくれることを大いに期待しています。

※ 学級委員の名簿は裏面に掲載しています。



「学校便り 琢磨」に関してのご意見・ご感想

大変お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見・ご感想を紹介いたします。なお、誌面の都合上、同様の内容につきましては、まとめさせていただきました。◎につきましては、今後の記事作成上の参考にさせていただきます。

- 学校行事、学校生活の様子がよく分かるので有難い。
- 「校長の独り言」が好きだ。共感したり、学び得るものがあったりする。家族で楽しみにしている。
- 県外の出身者なので、この土地の子どもの育ちを知ることができる。いつの時代も地域の人との関わりが大切だと感じる。
- 子どもは、教えたことの一つ一つを覚えていなくても、ふとした時に出てくることがあり驚かされる。子どもに言われて気が付くことも多く、それを素直に聞き入れることを大切にしている。
- ◎ 「栄光を讃える」を見て思ったことだが、運動や作品作りで、がんばっても上位の成績を取ることができない多数派の子どもたちへもスポットが当たるような工夫があればよい。
- ◎ 教職員個人の紹介コーナーがあると楽しいと思う。

学校運営に関するご質問・ご意見

貴重なご意見ありがとうございました。●については、現時点の学校としての回答を掲載します。

- 全体的に満足している。特に気になることはない。
- 子どもから、楽しかったことや悲しかったことの話を知ると、学校生活の大切さを実感する。
- ぜひ、学校で「もちつき」を体験させてやってほしい。→感染症対策で、「もちつき」を中止した学校や園・所も多いと聞いています。教員の働き方改革による行事削減の流れもあり、また、本校の児童数では、かなり大がかりな行事となりますので、正直なところ実施の検討には、課題が多いと思います。地域の方々の協力を得ての小規模のイベント、親子で希望する者が参加できるイベント等があれば紹介させていただきます。
- 保育所や幼稚園の諸経費の支払いがMito payに変わってきているがアカウントの乗っ取りや不正利用に対する補償がないので、小学校は、口座引落を継続してほしい。→現時点で、Mito payでの支払いは考えておりません。（裏面に続く）

- **危険な暑さの中、練習しなければならない運動会を、春開催にしてほしい。**→運動会は、現在は10月下旬に午前中開催で行っており、練習も暑さが落ち着く10月に入ってから本格的に行っております。来年度もこの時期に計画をしております。昨年の5月の平均気温が19.7℃、10月の平均気温が19.2℃なので、暑さに体が慣れていない5月にも練習中や運動会中に熱中症になってしまう危険性があります。今年度の運動会当日は、「肌寒くて半袖で見ている子どもたちがかawaiiそうだ」といった苦情が出ていたくらいです。5月の連休前後であれば、暑さは心配ないかも知れませんが、しっかりと練習をして精一杯の演技を保護者・ご家族の皆様に見ていただきたいという願いもありますし、他の行事との調整もあり、現在の時期を選んでおります。今後、春開催も当然視野に入れ、PTA行事でもありますので、運動会の時期変更については協議してまいります。
- **子ども会に入っていない方、校区外から登校している方もいることから地区役員の選出については考え直してほしい。**→子ども会育成会にお伝えします。
- **授業参観など1家族で何人でも来校してもよいのか。教室がせまいので、入室に関しては制限すべきではないか。**→コロナ禍では、分散開催や、入室の人数制限をしておりましたが、基本的にはご家庭の参加人数制限はしておりません。譲り合ってご覧くださいということですが、このご意見は、PTAにお伝えします。
- **学級役員の投票はやめて子どもがくじを引くなどに変更してほしい。**→PTAにお伝えします。
- **夏休み等の宿題が少ない。親の負担が増える宿題は増やさなくてもよいが、ワーク等を増やし学力向上に努めてもらいたい。**→夏休み等には宿題は必要ないというご意見、長期の休みにしかできない自由研究や自主学習を増やしてほしいというご意見もいただいております。タブレットを持ち帰りAIドリルをすることも含め、適切な宿題の量を検討します。
- **夏休みの作品を提出しても、応募されずに返された。**→作品によっては、学校の応募点数が制限されている場合もあります。夏休み前にお配りしている作品募集一覧に明記しています。その応募で点数を上回る提出があった場合は、校内で担当者（学年団等で分担）が選考し、最終的には校長が判断して応募するようにしています。それ以外は、応募規定外の作品を除いて、全て出品するようにしています。（入選作品以外は、賞状、参加賞等が無い場合もあります。）